

## ‘12 修士論文要旨の書き方

### 修士論文要旨とは？

まず、要旨とは何かということですが、広辞苑では「大体的内容、肝要な主旨」という意味が出ています。このことから、論文要旨とは、自分の書いた修士論文の大体的内容をまとめたものであるということが出来ます。修士論文要旨を書く上で重要なことは、自分が論文で何を言おうとしているのかが簡潔にまとめられていなければならないということです。これに対して、「自分が（論文で）何を書きたいのか」をまとめたものは、「研究計画書」になります。実際、「論文要旨」と「研究計画書」を混同して考えている人が少なからずいるので注意してください。

要旨で書かれていなければならないことを簡単に述べれば、「自分が選んだ研究テーマにおいて何が問題であるのか（どこに問題があるのか）」、「その問題に対して自分がどのようなアプローチをとったのか（問題をどのように分析したか、またどのように考察したのか）」、「どのような結論に至ったのか」ということになるでしょう。

それでは、以下で具体的な書き方について説明します。

### 修士論文要旨の書き方（まとめかた）

大筋をまとめれば次のようになります。

#### 研究の目的

ここでは、どのような目的をもって論文が書かれているのかが明らかにされなければなりません。また同時に「自分が選んだ研究テーマにおいて何が問題であるのか」、つまり問題の所在が述べられていなければなりません。

#### 各章の内容

ここでは、「その問題に対して自分がどのようなアプローチをとったのか（問題をどのように分析したか、またどのように考察したのか）」が述べられていなければなりません。すなわち、各章ごとに、自分はどのような分析を行ったのか、どのような考察を行ったが書かれていなければなりません。

#### 結論

ここでは、「どのような結論に至ったのか」が述べられていなければなりません。すなわち、各章で行った分析や考察を踏まえて、研究の目的で提起した問題に対してどのような独創的な解答が導き出されたのか、また残された問題点は何であるのかが書かれていなければなりません。

#### 参考文献一覧

参考文献（和書および洋書、雑誌論文（和文、英文））の表記の仕方、および整理の仕方については本学発行の「レポート・論文作成にあたっての注意」と「論文執筆の技法」（WebClass 参照）に記述があります。それらを参考にして、記述してください。

- 記述・整理の仕方については、必ず本学発行の『講義要覧』の「卒業論文の書き方」と配布資料「論文執筆の技法」を参考にすること。

### **おわりに**

論文要旨は、いってみれば論文本体のアウトラインです。要旨を読めば、論文に何が書かれているかの概要がわかるものでなければならないといえます。このことを踏まえつつ、簡潔に主題と論点をまとめてください。

### **重要！！**

- 1) 自分の論文を表す言葉は「本論文」に統一することとします。
- 2) 前書き、あとがき（いわゆる指導教員への謝辞）は論文要旨に書く必要はありません。